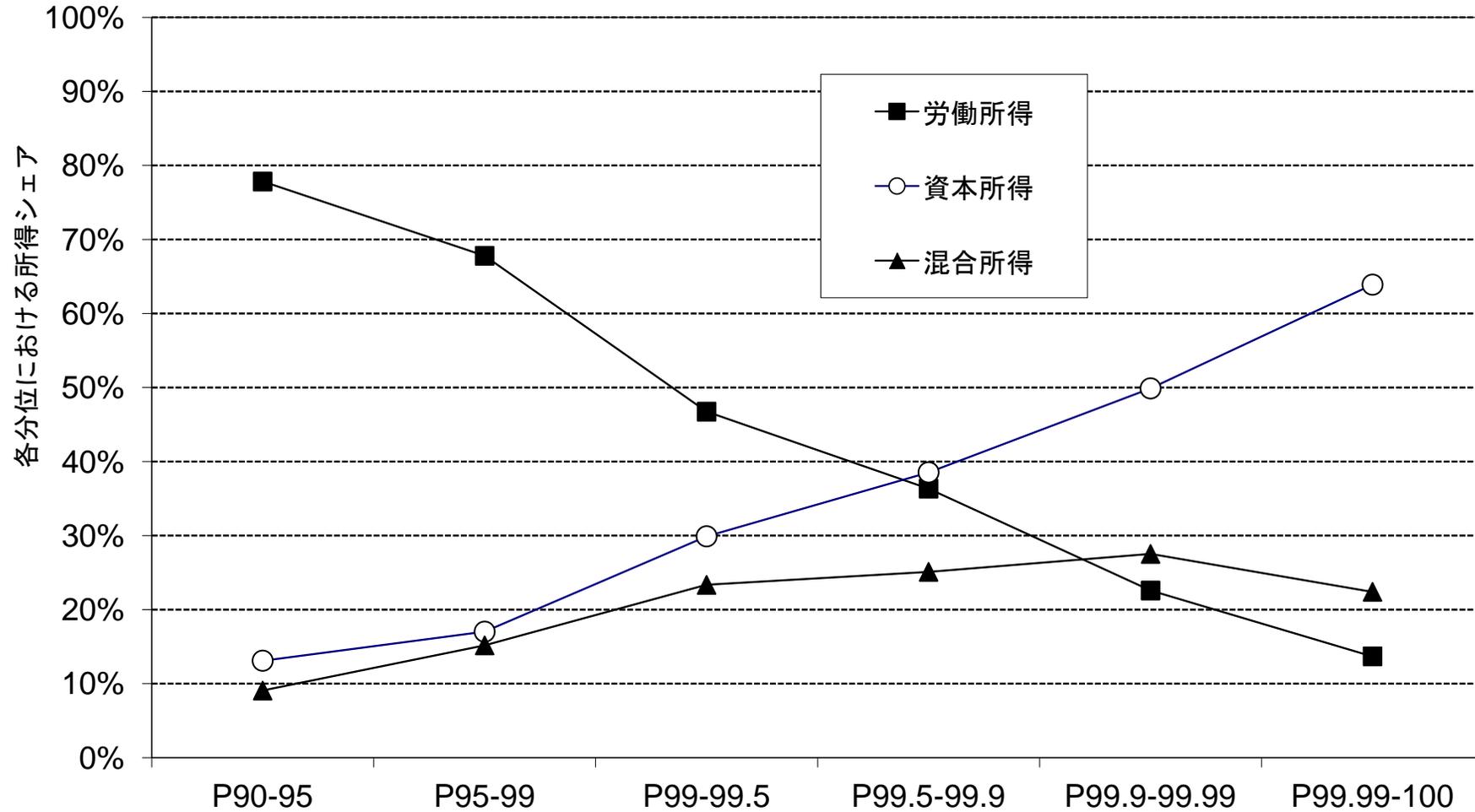


図8.3 1932年フランスにおける最上位層の所得構成



トップ十分位のなかで上位に行くほど、労働所得の重要性は下がる。注記：(i)「P90-95」は第90百分位から第95百分位の人が含まれる。「P95-99」には次の4%、「P99-99.5」には次の0.5%ということになる。(ii)労働所得とは、賃金、ボーナス、年金、資本所得とは配当、利子、賃貸料で、混合所得は自営所得。出所と時系列データ：<http://piketty.pse.ens.fr/capital21c>を参照。